

奈狩江地区住民自治協議会 地域計画書

(令和7年度～令和11年度)

令和7年5月

1, はじめに

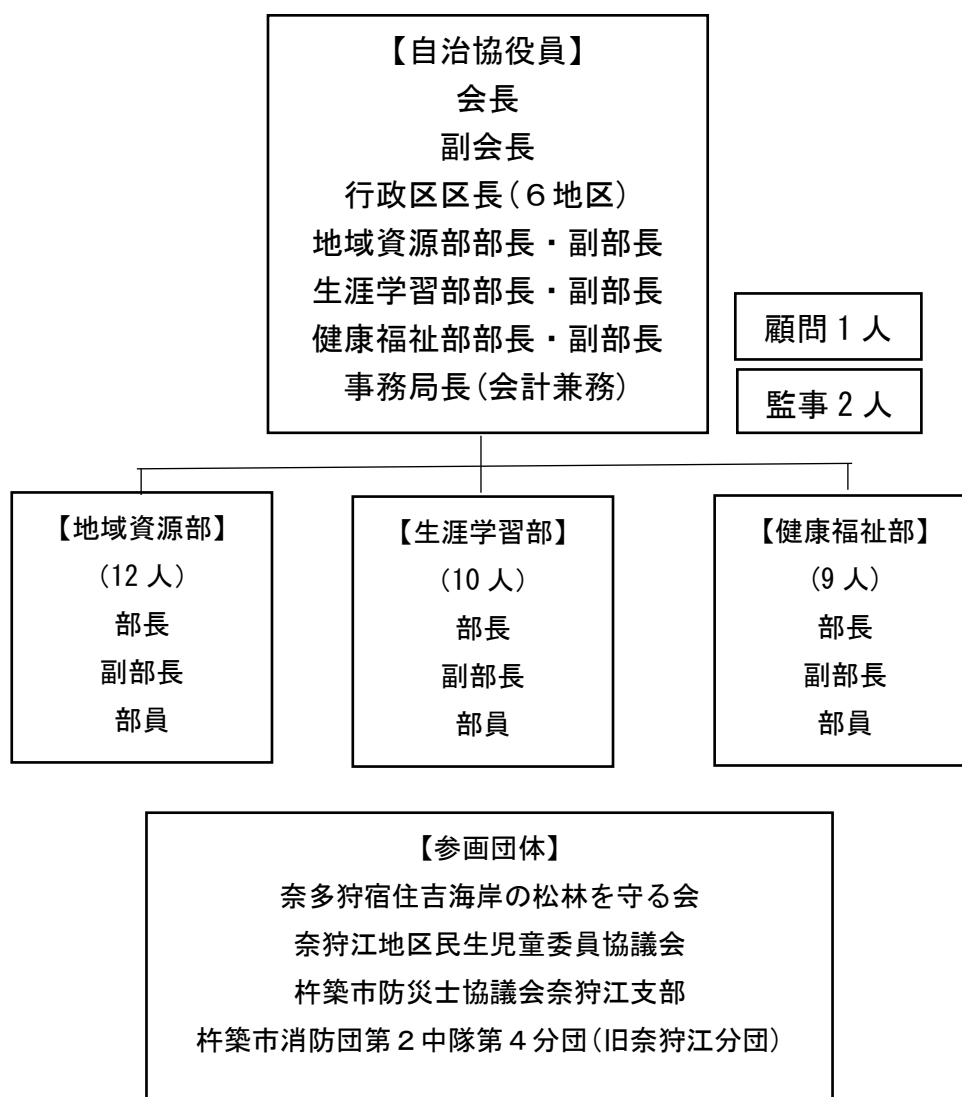
奈狩江地区（灘手区、守江区、野辺区、狩宿区、奈多区、横城区）に奈狩江地区住民自治協会が設立されて15年が過ぎました。

これまで地区住民相互の融和を図ることを目的として様々な事業を実施してきました。

今回の「地域計画書」の見直しを機会に、奈狩江地区の皆さんが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

2, 住民自治協議会とは？

住民自治協議会とは、地区住民と各種団体が参画・協力して地域の課題を解決していこうとする地縁型の地域住民団体です。



3, これまでの主な活動の取り組み

地域資源部

- 花いっぱい運動・・・地区内の学校や事業所へ花を配布



- 奈多海岸清掃・・・クリーンアップ作戦、児童クラブ浜清掃等
- 廃油回収・・・廃食用油を毎月第3水曜日に回収
- 防災・避難訓練・・・小学校へ非常用持出袋を贈呈、小学校避難訓練見守り
防災講演会開催、防災訓練実施、交通安全教室開催
- 歴史・文化財保存・・・マップ「いにしへの散歩道」作成、各種展示会開催
- にぎわい創出・・・夜市、マルシェ、コンサートなどの開催

生涯学習部

- 夏休みイベント・・・小学生を対象に「いかだ体験」「ロケットづくり」
などを実施
- 松苗植樹・・・小学生と地域の人で松苗を植樹し、松林について学んだ



- しいたけ駒うち体験・・・小学生を対象にしいたけ駒うちの体験を実施
- 機織り体験・・・小学生を対象に機織り体験を実施

健康福祉部

- なかえカフェ・・・奈狩江地区コミュニティセンター、毎月第2金曜日実施
- グランドゴルフ大会・・・美の崎グランドゴルフ場、高齢者の健康増進
- 住吉浜海岸ウォーク・・・住吉浜リゾートパーク、地区住民の健康増進



- 健康教室・・・市立山香病院の協力でフレイル測定など実施

支障木等撤去事業（協働事業交付金事業）

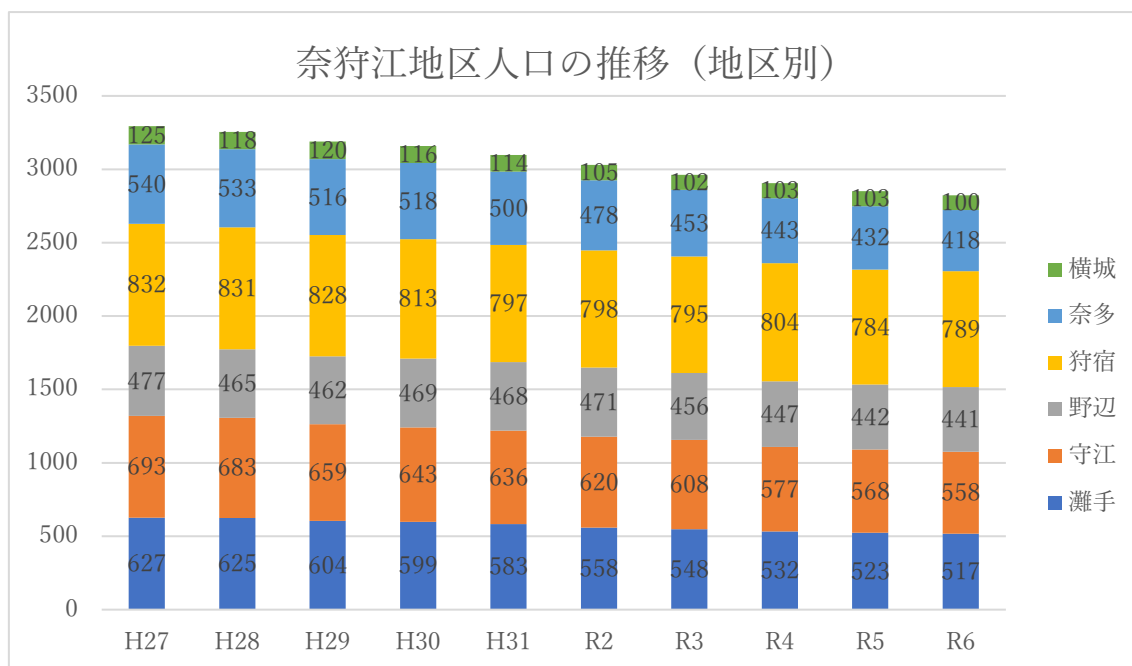
各区長さんからの依頼を受け、市道沿いで通常各地区の方々による草刈り等が困難で、緊急車両等の通行に支障があるような箇所の支障木等の撤去を行った。（令和４年度から実施）

４、活動についての振り返り

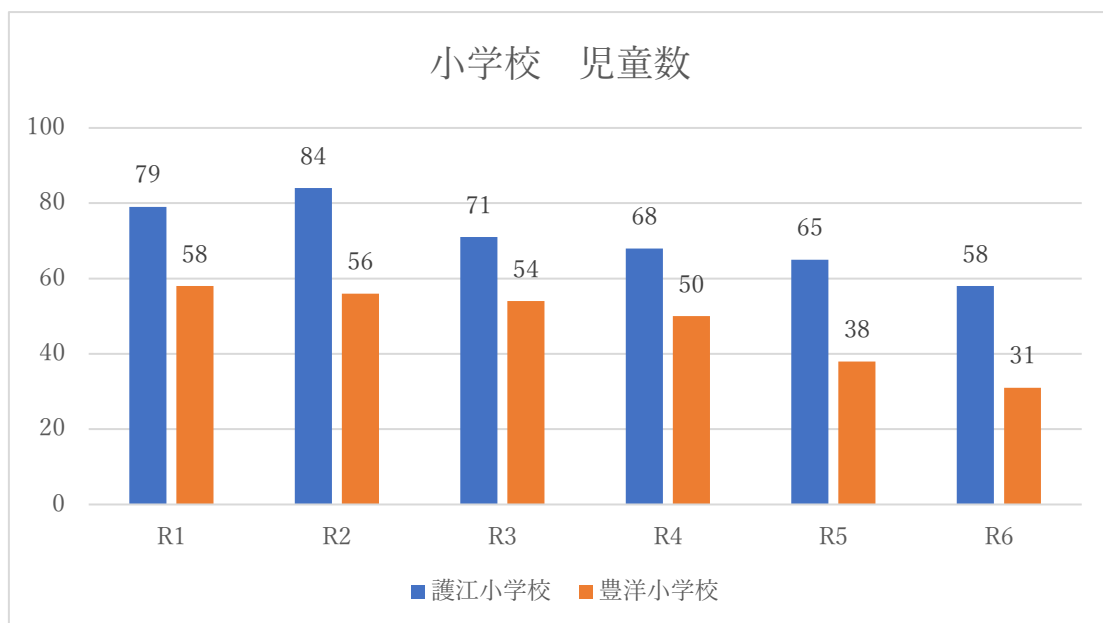
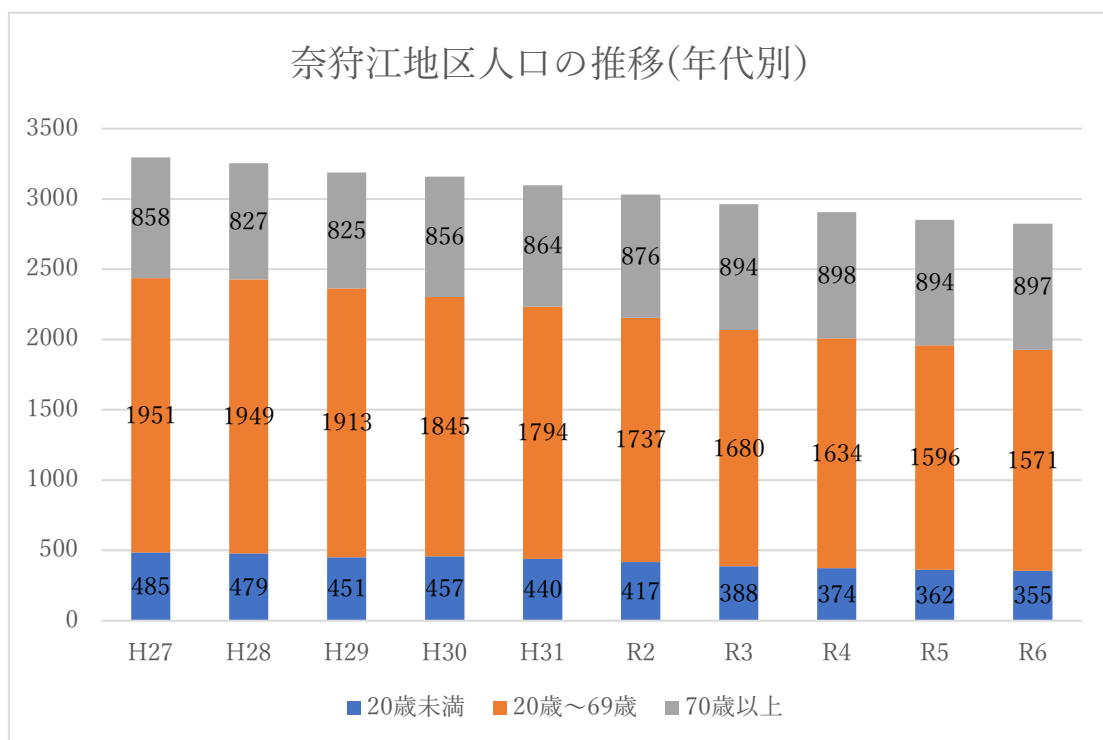
令和６年度までの活動を振り返ると、「いろんなイベントができ、楽しく取り組むことができた」「幅広い世代の交流があって勉強になった」「基盤づくりができたのではないかな」などの意見があり、良い取り組みができました。

事業を実施した後には、常に問題点などを話し合いながら、新規事業の立ち上げ、事業の見直しあるいは廃止を含め、柔軟な対応で、より良い方向へと進めて来られました。誰かに言われたからするのではなく、昨年まで実施した事業だから今年もするのではなく、住民自治協議会のメンバーが主体的に事業を考え準備し実施してきたことが良かったと評価されます。

５、奈狩江地区の人口等の状況



奈狩江地区の人口は、平成 27 年に 3,294 人でしたが令和 6 年には 2,823 人となり 471 人(△14.3%)の減少となりました。また、65 歳以上人口では平成 27 年に 1,127 人(高齢化率 34.2%)でしたが令和 6 年には 1,129 人(高齢化率 40.0%)となり 2 人増となりました。



小学校の児童数においても、令和1年は137人でしたが令和6年には89人と35%減となっています。

また、豊洋幼稚園は平成30年度から休園し、令和4年度に閉園となりました。守江幼稚園も令和7年度から休園が決定しています。

灘手区にある松栄こども園には市内の子どもが91人（3才～5才が54人、0才から2才が37人）利用されていますが、送迎バスは無い状況です。

6. 地域の課題

○人口の減少

若い人やこどもの減少が大きい。逆に高齢者は増える傾向がある。

○高齢者世帯の増加

一人暮らし高齢者世帯など買い物や通院などに困っている世帯がある。

災害時（火災、台風、津波など）での支援が必要な世帯がある。

○小学校の存続

幼稚園は2校とも閉園となり、2校ある小学校も今後児童数が減少していく傾向がある。

○地域コミュニティの存続

コロナ禍の後、地域住民相互の関わりが薄くなった。

○移住者への対応

移住者の方と一緒にになって地域づくりを行える態勢づくりが必要である。

○地域交通

奈狩江地区は路線バスの本数が少なく1時間に1本あるかないかで、19時頃が最終バスとなっている。

市が運行するコミュニティバスは奈狩江地区では運行しておらず、市の乗合タクシーの奈狩江地区の利用状況は、令和5年度は961回で月平均80回となっている。

○地域の環境

耕作放棄地、空き家、空き地、使用していない公共施設（豊洋幼稚園、守江幼稚園、奈多公園内施設）などがあり、生活環境への影響が危惧される。

○地域の通行

地区の雑草や支障木については、ほぼ地区住民で整備してきたところですが、地区の高齢化、少数化が進み実施できない箇所が多くなってきている。緊急車両（救急車や消防車）の通行に支障がある場所、竹や支障木で見通しが悪いような場所などの整備が十分ではない。

○通信環境

奈狩江地区のインターネット環境は、市のケーブルテレビに頼らざるを得ないが、市の整備により奈狩江地区も光回線化ができています。今のところ杵築市でのインターネットサービスは最高100Mbpsコースしかなく、サテライトオフィスなどの誘致に向け1G～10Gコースのサービス提供が望まれる。

児童の減少に伴い、地域の核である小学校の存続が難しくなり、また公共交通の低下が通勤・通学者や高齢者の日常生活に影響を及ぼすと考えられます。人口減少により、空き家、空き地が増加していき、倒壊のおそれのある防災上の問題や空き巣等防犯上の問題も危惧されます。

7、奈狩江地区のめざす将来像（目標）

地域づくりにおいて、自分たちがやりたいこと、できること、地域が求めていることの三つをうまく組み合わせて活動し、皆さんからの感謝の言葉を力にして、更に次の活動に続けていきたい。

奈狩江地区住民自治協議会は、次の目標を定めました。

次の世代へつなげる活力ある奈狩江

8、これからの活動の取り組み

○地域資源部

・消防・防災対策

各小学校への防災教育、市や行政区と連携した避難訓練の実施、消火器や防災用品等の定期的な斡旋、交通安全教室、防災講演会などを実施し防災への意識を高める。

・環境対策

海岸清掃、松林の保全、廃油の回収、花いっぱい運動。

・イベントの開催

夜市などを開催し、地域の飲食店の出店や地元野菜の販売などで地域に活力をつくる。

・歴史遺産・文化財資源の保存と活用

地域にある国指定史跡（御塔山古墳、小熊山古墳）や国指定重要文化財（奈多宮三神像）などを活用して地域の活性化へつなげる。

○生涯学習部

・世代間・学校間交流

主に護江小学校、豊洋小学校の児童を対象に夏休みイベント、椎茸駒うち体験や織物教室を実施する。今後は親子料理教室など親子で楽しめる活動を企画し実施していく。

・文化・芸術活動の推進

音楽や踊り、絵画や写真など文化・芸術イベントを実施することで、地域に活力をつくる。

○健康福祉部

・健康推進活動

ウォーキング大会、健康グランドゴルフ大会や健康教室を開催する。

・高齢者のコミュニティづくり

なかえカフェの実施などでコミュニティづくりをしていきます。

・健康福祉部員のスキルアップ

視察研修などで、部員のスキルアップを行う。

○各専門部共通

・情報発信

奈狩江地区住民自治協議会のホームページを活用し、実施事業など情報発信を積極的に行う。

・協力団体の確保

奈狩江地区内の飲食店との連携は、イベントを通じて行っているが、地区内の事業所（デンケン、住吉浜リゾートパーク、トアルソン、ひまわり等）との連携もイベント等を通じて行っていく。

・人材の確保

事業を実施するのが住民自治協議会のメンバーだけになりがちな状況であるため、幅広く地域の方々を巻き込んだ事業展開を行う。中学生、高校生、大学生などにも声掛けしていく。

奈狩江住民自治協議会では、「地域に活力を取り戻したい」と様々な活動を実施してきました。

これからも継続すべき事業は継続し、新たに取り組むべき事業にもチャレンジしていきます。

